

mori もりもと moto

おかしはなし

Vol.01 かさじぞう



「さむかろうに」
おじいさんはゆきをはらい、
かさをかぶせてあげました。

Produced by Seiji
Picture Book Island



DESIGN BY ILIADA

× mori
moto

むかし、むかし、
ゆきぶかいやまおくのちいさないえに、
おじいさんとおばあさんがくらししていました。

あるとしの おおみそか、
おしよがつにたべるものも
なかつたので、わらでかさをあみ、
まちにうりにいくことにしました。

「かさはらんかね かさはいらんかね」
ゆきのなか かさはひとつも、うれません。

そのうち おおゆきになり、
ひもくれてしまったので、しようがなく
いえにかえることにしました。

そのかえりみち、つきあかり
うすぼんやりと、ゆきにうもれて
6たいのおじぞうさまが
たっているのがみえました。

「さむかろうに」

そういつて おじいさんは
おじぞうさまのゆきをはらい、
うりもののかさをぜんぶ
かぶせてあげました。

しかしひとつかさがたりません。
じぶんのかぶっていたてぬぐいも
かぶせました。ゆきみちをあるきあるき、
ようやくいえにつきました。

「おばあさん すまんのう」

かさがうれなかつたこと、
じぞうのことをはなしました。

「それでええじゃないですか。」

それより、さそきむかつたでしょう。
さあいろりであたたまつてください。」

そのひのまよなか、

「じよいやさ、じよいやさ。」と

おとがきこえてきました。

そしておじいさんとおばあさんの
いえるとのまえて、どすつとおおきな
ものおどがしました。

「おじいさんや、なんかきよつた。」

「おばあさんや、どろぼうかのう。」

おじいさんとおばあさんが

おそるおそるどをあげると、

そこにはこめだわらや、もち、こぼんや
きものなど、たくさんのかからものが
つんでありました。

ふとこえのするほうをみると、

「じよいやさ、じよいやさ。」と

おじぞうさまがきつていくのがみえました。

あたまには、5つのかさと1まいの
てぬぐいをかぶっていましたとさ。おじい

SORA

sora's profile

北海道を拠点として活動する、絵本作家、イラストレーター。イラストによる絵本、そらが制作したフェルトぬいぐるみを撮影したピクチャーブック、キャラクター開発などを手がける。また、自身の絵本による、子どもたちへの読み聞かせやライブペインティング、絵本作家としての講演や、テレビラジオ・雑誌への出演などの活動も展開。



かさじぞうの感想

このお話は、昔話の中でも大好きな一作です。小さい頃、何度も読んで、その度に心にシーンときたことを覚えています。じぞうにかさをかぶせてあげる、優しいおじいさん。それを、包みこんでくれる心豊かなおばあさん。古きよき、日本の姿がここにあると思います。そして、お正月はいつの時代も「おめでたいものや、おいしいものを食べたい」と願うものですね。私も、おばあちゃんのうちでのお正月には、おせちといっしょに口取りがありました。みなさんも、心豊かに、よいお正月をお迎えください。



Illustrated by SORA
Picture Book Studio



ZEROBUN-LENS
PUBLISHING
mori
moto

morimoto

お正月の
おかし

おかしずかん



くち
取
り



白あんを使った、練りきりとうようかんで作る、おせち料理のたいやえびを真似た北海道独自のおかし。

は
な
び
ら
餅



平安時代、新年に長寿を願う京都の行事で食べられていた、雑煮に見立てて受けつがれてきたおかし。

(監修: 農学博士 加藤 淳)